

「エコテックス (CSM[®]-2000) 標準研究フォーラム」 第7回

発行：「エコテックス (CSM[®]-2000) 標準研究フォーラム」 広報委員会

〒105-0003 東京都港区西新橋 1-14-7 山形ビル3階

TEL 03(3504)9800 FAX 03(5157)3180

E-mail eco-texj@k9.dion.ne.jp

URL: eco-tex.com.

2003年

5月8日

第7回セミナーのご案内

日時：5月28日（水曜日）午後2時～6時（5時から懇親会）

ところ：エコテック・ジャパン株式会社

今回は、4/17にお届けしました、フォーラムニュース8号で御案内いたしました事項
に関する御報告を中心にして、進めて参りたいと思います。

是非、皆様の御参加をお待ち申し上げます。

御挨拶 岡本会長

1. CSM-2000 認定取得の報告
2. 小売業の CoC の報告
3. 事務局よりの報告
4. 懇親会

恐れ入りますが、セミナーご出席の方のお名前を22日(木曜日)までに事務局

にお知らせ下さい。ご協力をお願い申し上げます。

今回の企業紹介は、

オルガン針株式会社様・財団法人ファッション産業人材育成機構様をお届け致します。

社団法人日本機械工業会は、ホームページ

www.jasma.or.jp をご覧下さい。

尚、財団法人ファッション産業人材育成機構様の企業紹介は添付資料として、お届けさせて
頂きますので、宜しく願い申し上げます。



オルガン針株式会社

■ 本社：

〒386-1436 長野県上田市前山 1 番地

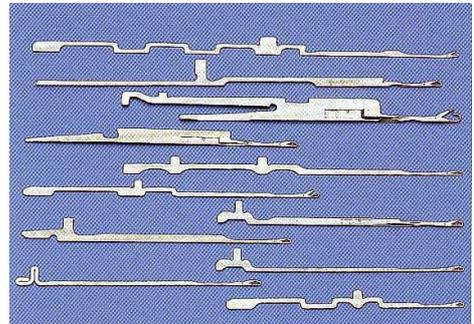
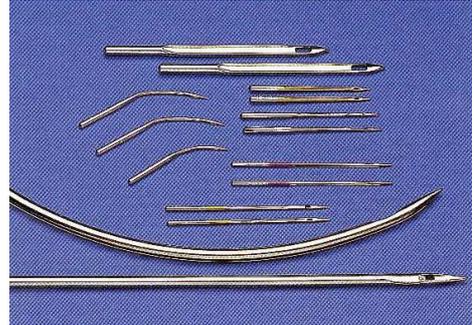
TEL：0268-38-3111 Fax：0268-38-8532

<http://www.organ-needles.com/>

弊社は、大正 9 年（1920 年）、創業者増島良三が東京・荒川区で蓄音機用針の製造を始めたのが起源です。昭和 8 年、蓄音機針製造のかたわら、当時国産品がなく輸入高がかなりな額に及んでいたミシン針製造に着目し、輸入針防遏を悲願に研究に着手し、幾多の困難を乗り越え、昭和 13 年ついにミシン針製造に成功致しました。

その後も、休むことなく機械の開発、種番の拡大、品質向上につとめ、ミシン針メーカーの基礎を固めました。その間、第二次世界大戦の渦中において、ミシン針製造も軍需産業の一つとされ軍当局の緊急疎開命令を受け、昭和 20 年に全工場機械設備を、現所在地である長野県上田市に移転致しました。

昭和 24 年には、アメリカ、メキシコにミシン針を初輸出して世界市場に参入し、昭和 34 年にはミシン針生産が年間 1 億本を超えるに至りました。そして、昭和 29 年にはメリヤス針部門にも進出し、昭和 38 年、社名を現在のオルガン針株式会社に変更し、総合針メーカーとして、フェルト針、タフティング針、製靴用針、製本用針などの製造をも進めてまいりました。



■ 針の製造とは

現在、ミシン針の生産は年間約 4 億 5000 万本。単純計算で、月産 3750 万本、1 日で 170 万本超となります。ミシン針の製造は典型的な変種変量生産であり、規格図面のあるものを数えると約 4000 種にも及び、毎月の売れ筋ということでも 1500 種類にも及びます。

ミシン針の製造は、ワイヤー材を切断・伸線するところから始まり、最後の表面処理・仕上げ研磨まで、針の種別にもよりますが凡そ 40 工程を要するもので、更に言えば、切削・プレス・熱処理・表面処理といった金属加工のあらゆる要素が盛り込まれているものです。

こうした種類の多さ、加工の複雑さよりして、針の製造というものはなかなか大変なものであるということは、小さな一本の針を手にしてご覧になられても、俄かにはご想像し難いのではないのでしょうか。

■ 商標“オルガンを弾く婦人”の由来



ミシン針は、ミシンのリズムによって運針されます。創業時の製品であった蓄音機針にしても、音楽と深い関係にあるところから、商標名の選定にあたっては、一般に親しみと柔らかさを感じさせる楽器として、オルガンとピアノが候補に上がりましたが、ピアノは当時としてはかなり贅沢な商品であるのに対し、オルガンの方は庶民的で多くの女性が幼い頃から親しんできた楽器で、その上に語呂も良いところから、「オルガン」を商標として選定しました。こうして昭和 13 年、商標として“オルガンを弾く婦人”のマークが決定され、以来長年に亘り親しまれてまいりました。昨今でこそ、家庭でミシンを使われる方は少なくなってきましたが、

